

# 糖尿病医療学研究会 in おかやま 2018

## ～ 患者さんのこころの声を聴く ～

日時

2018年 11月 23日 (金) 13:20～17:10

会場

岡山済生会総合病院 管理棟4階 「さいゆうホール」

〒700-8511 岡山市北区国体町2-25 TEL: 086-252-7375

13:20～13:30

製品情報提供

日本イーライリリー株式会社

Opening remarks

岡山済生会総合病院 糖尿病センター センター長 中塔 辰明 先生

教育講演

13:40～14:30

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学 講師 小比賀 美香子 先生

### 糖尿病患者のこころを見立て、支える

奈良大学 臨床心理クリニック 森崎 志麻 先生

一般講演

(講義毎に質疑応答・グループディスカッションの時間を含みます)

コメンテーター 石井 均 先生 森崎 志麻 先生

症例報告① 14:30～15:20

### 「副作用が出るから薬は飲みたくない」 ～交わされた言葉と変化～

大石病院 大石 菜摘子 先生

症例報告② 15:20～16:10

### 「だって、目が見えないのはここに来る前からだもん」と 天井を見つめるAさんのこころに届くケア

心臓病センター榊原病院 保健師 看護師長 糖尿病看護認定看護師 吉沢 祐子 先生

特別講演

16:10～17:00

倉敷シティ病院 下村 智子 先生

### 医学と医療学 - 糖尿病をもつ人に向き合うこと -

奈良県立医科大学 糖尿病学講座 教授 石井 均 先生

Closing remarks

岡山大学病院 新医療研究開発センター 教授 四方 賢一 先生

■日本糖尿病療養指導士認定更新の為の研修単位<第2郡>1単位(申請予定)

■日本糖尿病協会糖尿病療養指導医取得の為の認定講習(申請予定)

■おかやま糖尿病サポーター更新研修会B認定(申請予定)

■岡山県医師会生涯教育講座(申請予定)

※本研究会は、個人情報が多く含まれます。御参加いただく際は個人情報についての誓約書にご署名いただきます。

日本イーライリリー株式会社 岡山分室 小畑 宛

FAX番号:086-224-1074

\* \* \* \* \*

糖尿病医療学研究会 in おかやま 2018  
～ 患者さんのこころの声を聴く～

【参加申込書】

お手数でございますが、準備の都合のためFaxにて11月9日(金)までに事前申込をお願いいたします。

ご施設名:

Fax番号:

※該当する欄に○印をお付け下さい。

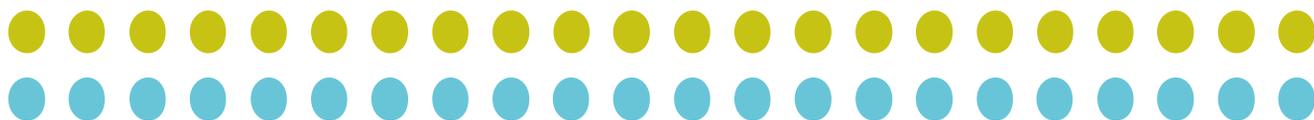
ご芳名	職種	日本糖尿病療養指導士	おかやまDMサポーター

【日本糖尿病療養指導士の方へ】 認定番号をひかえておいでください  
 【おかやまDMサポーターの方へ】 サポーターカードをお持ちください  
 【岡山県医師会会員の方へ】 生涯教育受講証をお持ちください

地図

岡山済生会総合病院 管理棟4階 さいゆうホール  
岡山県岡山市北区国体町 2 - 25 Tel(086)-252-2211





# 日本糖尿病医療学学会とは

## 日本糖尿病医療学学会設立理念

当学会は、糖尿病治療の人的側面により深く焦点を当てた学問領域として糖尿病医療学を提唱し、患者の生涯に亘る糖尿病との関わりを視野に置いて、患者の心理と行動、医療者と患者との関係、患者による治療利益評価の測定等について議論と研究の深化を図り、もって糖尿病療養法の発展に寄与することを共通の目的とし、その目的に資するため次の事業を行う。

1. 糖尿病患者の身体的及び心理的課題並びにその対策の研究
2. 糖尿病の各種治療法の実行課題及びその効果的実行法の研究
3. 医療者と糖尿病患者との関係、コミュニケーション及び支援の課題並びにその対策の研究
4. 糖尿病の治療法及びその効果に対する患者評価を科学的に測定する方法の開発及び普及
5. 糖尿病全般における社会的課題及びその対策の研究
6. その他当学会の理念に合致する研究
7. 前各号の研究成果の糖尿病患者及び医療者等への情報発信及び情報提供

## 学会の目的

糖尿病の診療を続ける中で、いろいろな困難や成功に出会います。その中には医学的なこと、すなわち治療法（例えば薬剤）そのものの選択や使用法、あるいは治療技術の習得に関することがあります。

一方で、糖尿病を持つ人（患者さん）の自己管理や心の問題に出会うこともあります。そのようなとき、医療者は診療を通じて、良い方向に向かうようにサポートを続けるのですが、出口がなかなか見つからず、ともに悩んでしまうことも少なくありません。また、あることがきっかけとなってそこから抜け出す体験をされたかたもあるでしょう。

本学会では、糖尿病を持つ人、その人たちをケアする人、ケアする人をケアする人、取り巻く環境や社会、それらの人たちのこころと行動に焦点を当てて、糖尿病臨床-医療を学ぼうとするものです。

いろいろな事例、症例を持ち寄っていただいて、通常の学会より時間をかけて（演題数にもよりますが短くても20分くらい）じっくりと検討会をやりましょう。その中から糖尿病治療に対する知恵と元氣を得たいと思います。

